



令和4年度

(令和4年5月21日~令和5年5月20日)

環境経営レポート



令和5年8月17日

株式会社 ニシテイ

目次

事業活動の概要	-----	2
ニシテイの組織図	-----	3
環境保全推進組織と役割分担	-----	4
環境経営方針	-----	5
環境目標とその実績・令和3年度主要な環境活動計画の内容	-----	6
環境活動の取組結果の評価	-----	9
令和4年度主要な環境活動計画の内容	-----	12
環境関連法規への違反、訴訟の有無	-----	13
代表者による全体評価と見直し	-----	13
環境活動・緊急事態訓練報告の紹介	-----	14



某プラント内変電所NGR

1. 事業活動の概要

1. 1 事業社名及び代表者名

株式会社 ニシテイ
代表取締役社長 三藤 健二郎

1. 2 所在地

本社／工場 — 北九州市八幡西区紅梅2-1-1
舟町工場 — 北九州市八幡西区舟町3-9
岡垣工場 — 福岡県遠賀郡岡垣町大字糠塚字黒石277-1
大阪営業所 — 大阪市淀川区西中島6-2-3
東京営業所 — 埼玉県所沢市東所沢1-28-23

1. 3 環境保全関係の責任者及び事務局連絡先

環境管理責任者 製造統括取締役 松浦 佑治
事務局氏名 組立課 課長 秋武 稔

連絡先 電話 093-282-7270
 FAX 093-282-7271
 E-mail akitake@nishitei.co.jp

1. 4 事業の内容

- ①抵抗器、スペースヒータ及び産業用電源品質対策用機器の開発・設計・製造・販売
- ②電機・機械部品の加工
- ③ロボット部品の組立
- ④リアクトル・変圧器の販売

1. 5 事業の規模

(事業年度：5月21日～翌年5月20日)

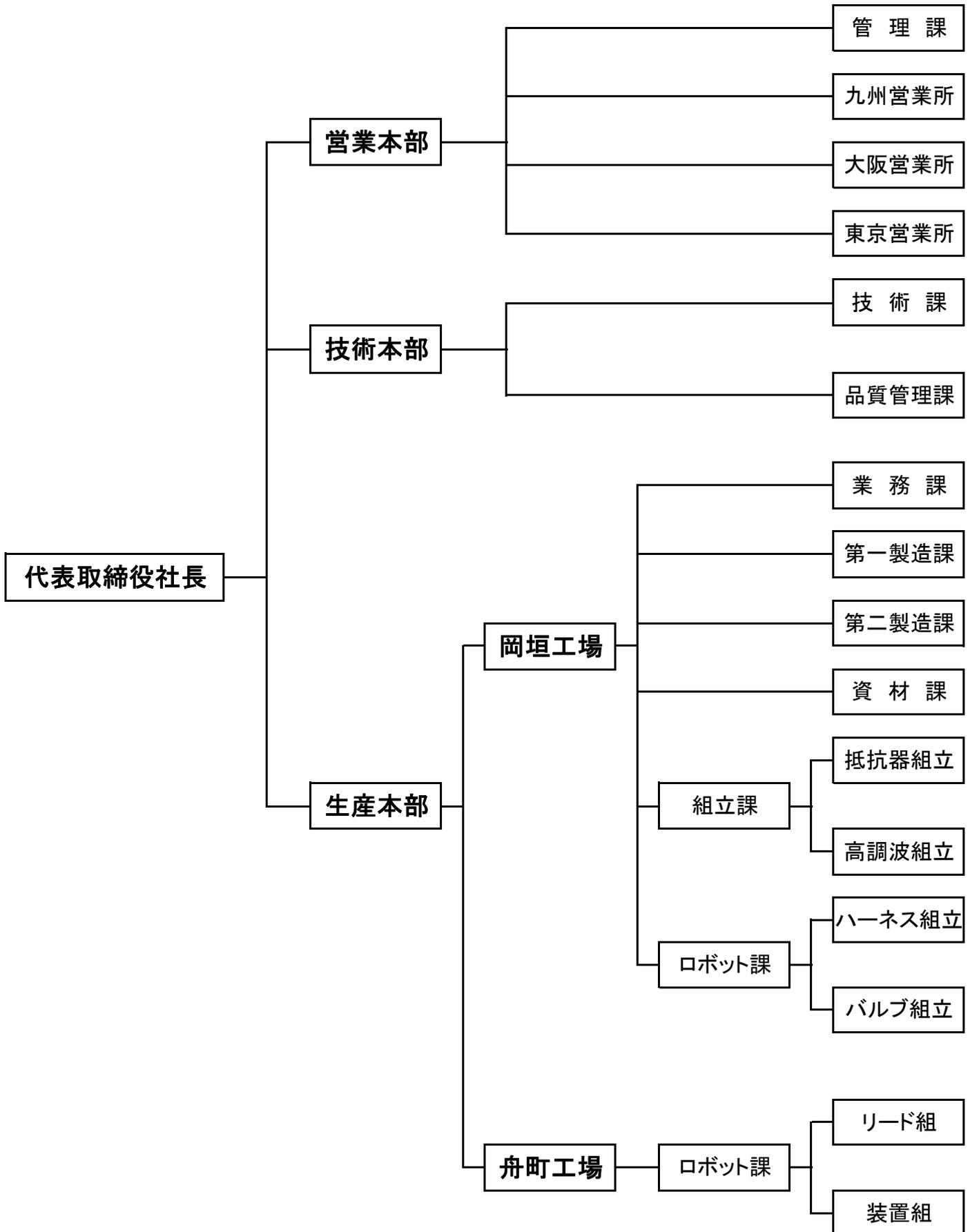
活動規模	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
売上高	百万円	1,330	1,460	1,395
従業員	人	115	112	110
床面積	m ²	6,382	6,382	6,382

1. 6 対象範囲

- ①対象事業所： 全事業所
- ②対象事業活動： 全事業活動

(株)ニシテイ組織図

令和4年5月21日現在

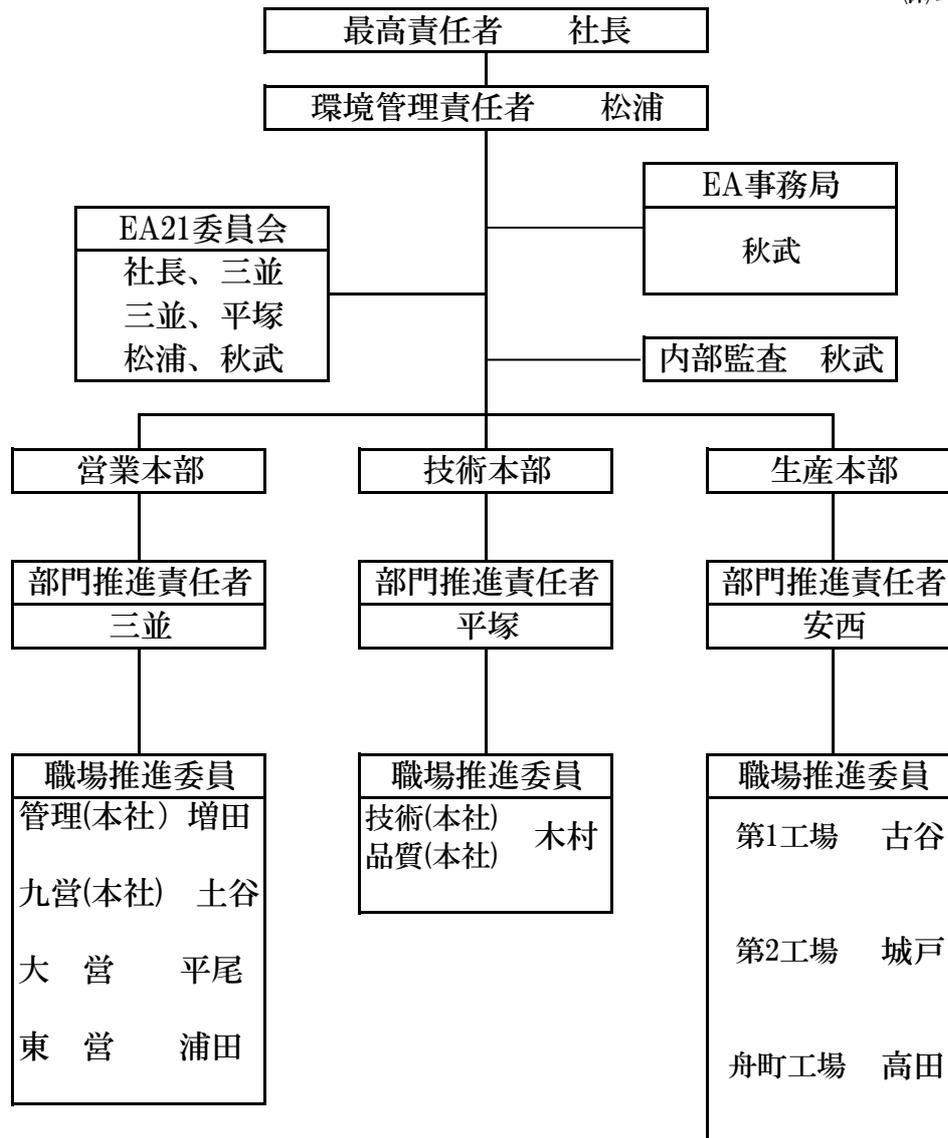


環境保全推進組織

E A 2 1 実施体制

令和3年7月21日

(株)ニシテイ



役割分担

氏 名	所 属	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
三藤 健二郎	代表取締役社長	全体総括、環境方針の設定、環境管理責任者の任命、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
松浦 佑治	環境管理責任者	全体の把握、環境経営システムを構築・運用し、その状況を社長に報告する
各委員	E A 2 1 委員会	最低1年に1回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する
事務局	E A 2 1 事務局	E A 2 1 文書及び記録類の作成・管理・情報開示
各部門長	部門推進責任者	各部門における環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を管理
各推進委員	職場推進委員	各職場における環境目標の達成状況及び活動計画の具体案の掲示と管理

環境経営方針

環境理念

株式会社 ニシテイは、抵抗器の開発・製造及びロボット関連製品の組立を主とした事業活動を行うなかで、地球環境を将来にわたり守って行かなければならないとの認識に立ち、環境保全活動を技術的・経済的に可能な範囲で推進します。

環境行動指針

1. 環境負荷の低減を目的とし、次の項目を重点的に取り組みます。
 - (1) 省エネ（電気、燃料）による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の削減
 - (3) 水使用量の削減
2. 力率改善用機器等の開発・販売を行い、環境に配慮した製品の提案に努めます。
3. 環境負荷低減に伴った、生産性の向上に努力いたします。
4. 環境関連法令及び当社が同意した各種協定等を順守します。
5. 環境方針は、全ての従業員に周知徹底します。
6. 環境活動レポートを作成し、環境の取組状況を公表します。



制定 平成20年10月21日

改定 令和4年 5月21日

株式会社 ニシテイ

代表取締役社長

三藤 健二郎

2. 環境目標とその実績

2.1 今年度以降の目標

平成30年度の実績をベースに3か年の目標値を設定した。

項目	単位	平成30年度	目標			
		※2 実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	169,768	162,978	161,280	159,582	
	kg-CO2/百万円	104.5	100.3	99.2	98.2	
電力	本社、舟町、岡垣	kWh	357,915	343,598	340,019	336,440
	東京営業所	kWh	12,156	11,670	11,548	11,427
	大阪営業所	kWh	5,306	5,094	5,041	4,988
	本社	kWh	375,377	360,362	356,608	352,854
		kWh/百万円	231	222	219	217
ガソリン	ℓ	11,182	10,735	10,623	10,511	
	ℓ/百万円	6.88	6.61	6.54	6.47	
軽油	ℓ	3,637	3,492	3,455	3,419	
	ℓ/百万円	2.24	2.15	2.13	2.10	
※1 廃棄物	一般廃棄物	kg	2,328	2,235	2,212	2,188
		kg/百万円	1.43	1.38	1.36	1.35
	産業廃棄物	kg	—	1,610	1,594	1,578
		kg/百万円	—	1.08	1.07	1.06
	リサイクル回収品 (率)	kg %	— —	7,498 53%	7,421 54%	7,344 54%
化学物質使用量	—	適正な取り扱い及び処理・処分を行う				
水使用量	m ³	1,829	1,765	1,756	1,747	
	m ³ /百万円	1.13	1.09	1.08	1.07	
生産性向上	円/h	¥9,007	¥9,367	¥9,457	¥9,547	
環境配慮製品の提案	件	—	5	6	7	
地域の環境美化	—	会社周辺の環境美化活動を推進する				

(購入電力排出係数：九州電力 0.347 kg-CO₂/kWh)
 (購入電力排出係数：中部電力 0.452 kg-CO₂/kWh)
 (購入電力排出係数：東京電力 0.455 kg-CO₂/kWh)

※1・R1年度より算出方法の見直しにより、R3年度廃棄物排出量を100%として算出
 (一般廃棄物排出量2,258kg ・産業廃棄物排出量1,626kg ・リサイクル回収量7,574kg)

※2・通年だと基準値はR3年度だが、R1~3年度は臨時休業日がある為 基準値はH30年度で継続

3. 令和4年度主要な環境活動計画の内容

3. 1 二酸化炭素排出量削減のための取組（活動期間を通じて実施）

（1）電気使用量の4%削減

- ①本社1F~4Fのブラインドを全交換して冷暖房の効率を高める（本社）
- ②エアコンを適正温度に設定して効率よく稼働させる（大阪営業所、舟町工場）
- ③定期的な室内機、室外機の清掃及び室外機の断熱対策をして、空調の電力効率を上げる（岡垣工場）
- ④省エネとしてエアコン以外の暖房機械は使用しない（東京営業所）

（2）ガソリン・軽油使用量の2.5%削減

- ①渋滞する時間とルート調べ、渋滞待ちのリスクを低減して急加速・急減速をなくす（本社）
- ②郊外への移動は高速道路を使用して渋滞を避ける、都内への移動は公共交通機関を活用する（東京営業所）
- ③配達業務を燃費の良い最短ルートで行う（舟町工場）
- ④舟町工場と連携して、集荷の委託やまとめ出荷を行う（岡垣工場）

3. 2 廃棄物排出量の削減のための取組（活動期間を通じて実施）

（1）一般ゴミの排出量抑制

- ①紙ごみを一般ゴミではなく、回収資源として処理する（本社）
- ②設計図及び材料表、客先納入仕様書をデジタル化して紙媒体での出力を削減する（大阪・東京営業所）
- ③エアパッキン等の梱包材は自社製品梱包時に再利用する（舟町工場）
- ④紙専用のゴミ箱を設置と、分別ごみ詳細表を作成して回収資源を一般ゴミに出さないようにする（岡垣工場）

（2）産業廃棄物の排出量抑制

- ①回収資源を分別し、リサイクル業者に処理を依頼する（本社・舟町・岡垣工場）

3. 3 化学物質使用量の取組（活動期間を通じて実施）

使用時はマスク着用など、適切な取り扱いを行う

3. 4 水使用量の削減のための取組（活動期間を通じて実施）

（1）水使用量の4%削減

- ①手洗い時は水を出したままにしない。（全社）
- ②バルブと流量計を変更し、冷却水の流量を管理する（岡垣工場）

3. 5 生産性の向上のための取組（活動期間を通じて実施）

（1）作業効率を4%上げる

- ①多能工化を推進し、他部署との連携で応援などを行い、
残業時間を削減する

3. 6 環境配慮設計の実施（活動期間を通じて実施）

（1）環境配慮をした製品の提案を5件以上行う

- ①力率改善用機器やピークシフトや事業継続計画が可能な非常用電源盤の
開発し、提案・販売を行う

3. 7 地域の環境美化活動への取組

北九州市より苗などの提供をしていただき、舟町工場の花壇に定植を
行った

岡垣工場にて、工場敷地内の草刈りを工場内全従業員で6月、10月に行う
また、3月に外注（シルバー人材センター）に依頼し、工場周辺の草刈り
作業を行う

4. 環境活動の取組結果の評価

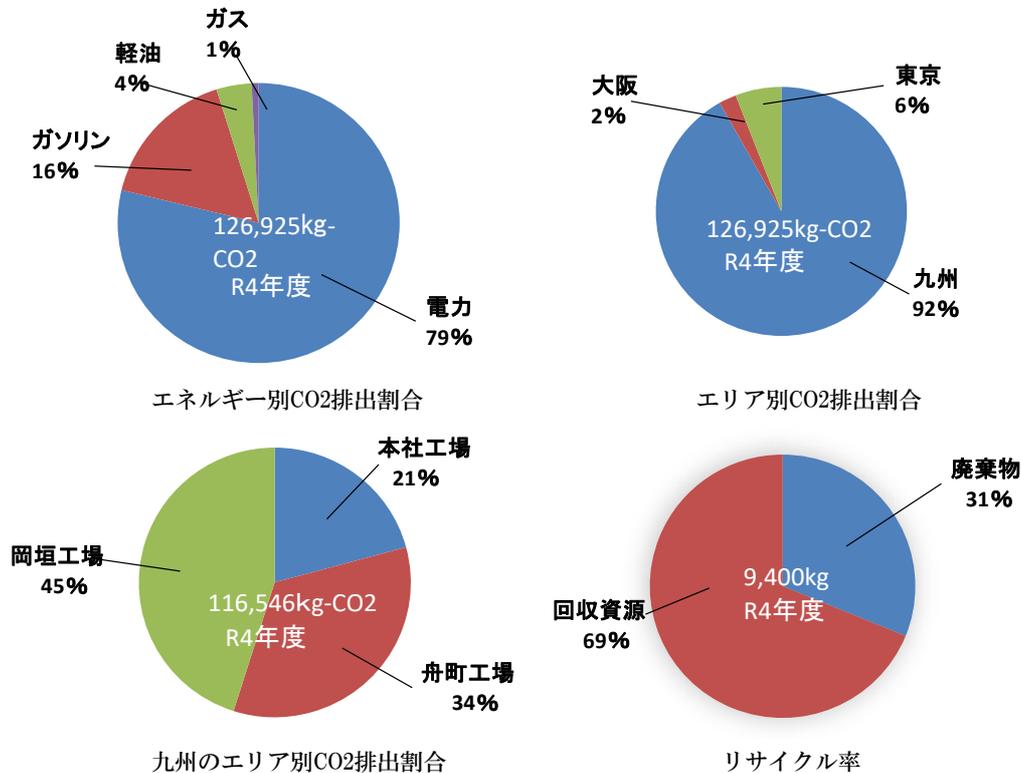
令和4年度の目標に対する実績は下記のとおりであった。

項目	単位	平成30年度	令和4年度		達成率	達成状況	
		実績	目標	実績			
二酸化炭素排出量	kg-CO2	169,768	162,978	126,925	128%	○	
	kg-CO2/百万円	104.5	100.3	91.0	110%		
電力	本社、舟町、岡垣	kWh	357,915	343,598	266,077	129%	○
	東京営業所	kWh	12,156	11,670	10,631	110%	○
	大阪営業所	kWh	5,306	5,094	6,304	81%	×
	全社	kWh	375,377	360,362	283,012	127%	○
		kWh/百万円	231	222	203	109%	
ガソリン	ℓ	11,182	10,735	8,958	120%	○	
	ℓ/百万円	6.88	6.61	6.42	103%		
軽油	ℓ	3,637	3,492	1,974	177%	○	
	ℓ/百万円	2.24	2.15	1.41	152%		
廃棄物	一般廃棄物	kg	2,328	2,235	1,254	178%	○
		kg/百万円	1.43	1.38	0.90	153%	
	産業廃棄物	kg	—	1,610	1,676	96%	×
		kg/百万円	—	1.08	1.20	90%	
	リサイクル回収品	kg	—	7,498	6,470	116%	○
(率)	%	—	53%	69%	—	○	
水使用量	m ³	1,829	1,765	945	187%	○	
	m ³ /百万円	1.13	1.09	0.68	160%		
生産性向上	円/hr	¥9,007	¥9,367	¥10,589	113%	○	
環境配慮設計の実施	件	1	5	※ 170	3400%	○	
売上	百万円	1,625	—	1,395	—	—	

(購入電力排出係数：九州電力 0.347 kg-CO2/kWh 中部電力 0.452 kg-CO2/kWh)

(購入電力排出係数：東京電力 0.455 kg-CO2/kWh)

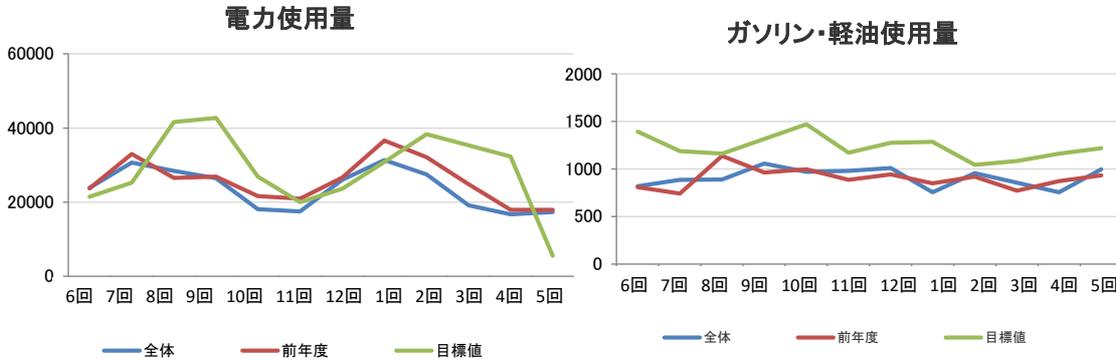
※取組変更に伴い、算出方法の変更した為、件数が予想より大幅に増加 来年度目標調整予定



4. 1 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量は目標に対し、約28%の削減が出来た 要因として多能工化による作業の効率化で工場の残業時間の削減ができ、工場稼働時間の減少が出来た結果です

ガソリン、軽油の使用量も目標値に足して20%以上の削減出来ているのは従来の協力会社への外注依頼品の一部を内製化の推進が出来、協力会社への引取が減少出来た為です



取組紹介



エアコン掃除の様子

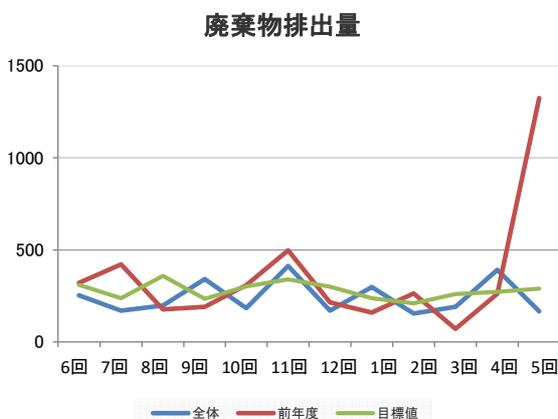


各フロアに節電明示

4. 2 廃棄物排出量の削減

一般廃棄物はリサイクル化の効果が出ているが産業廃棄物の増加している まだ一部で分別が徹底できていない所が見られたので意識向上に努める

リサイクル量は減少しているが、割合は増加している為 全体的に廃棄物は減少傾向にある



取組紹介



廃棄物の分別明示

5. 令和5年度主要な環境活動計画の内容

5. 1 二酸化炭素排出量削減のための取組（活動期間を通じて実施）

（1）電気使用量の5%削減

- ①ブラインドを使って遮光や空気の層で冷暖房効率化を図る（本社、東京・大阪営業所）
- ②夏季はパーテーションを利用し、冷房効率化を図る（岡垣工場）
- ③冬季はシャッターを出荷以外は10分以上開けない（舟町・岡垣工場）
- ④終業時、空調及び照明の消し忘れがないか確認する（全社）
- ⑤寮から出るときは、空調及び照明の消し忘れがないか確認する（東京・大阪営業所）

（2）ガソリン・軽油使用量の5%削減

- ①渋滞する時間や渋滞を回避するルート調べ、運送中の渋滞待ちをなくす（舟町・岡垣工場）
- ②小さな荷物はトラックではなく、燃費が良いバンを使用する（岡垣工場）
- ③高速道路を使用し、渋滞回避して燃費を上げる（本社、東京営業所）

5. 2 廃棄物排出量の削減のための取組（活動期間を通じて実施）

（1）一般ゴミの排出量抑制

- ①紙ゴミを一般ゴミではなくリサイクル業者に依頼する。（本社・舟町工場・岡垣工場）
- ②過剰梱包の廃止や簡易梱包の推進を取引先と交渉する（舟町工場）
- ③分別されたゴミの収集業者を探し、自社で持ち込みを行う（岡垣工場）

5. 3 水使用量の削減のための取組（活動期間を通じて実施）

（1）水使用量の5%削減

- ①手洗い時は水を出したままにしない（全社）
- ②冷却水の流量を10%DOWNさせる（岡垣工場）

5. 4 生産性の向上のための取組（活動期間を通じて実施）

（1）作業効率を5%上げる

- ①他部署との連携を図り、定時内応援や前工程待ち削減を行い、時間外勤務を減らす

5. 5 環境配慮設計の実施（活動期間を通じて実施）

（1）環境配慮をした製品をお客様に提案する

- ①力率改善製品をお客様に提案する（各営業所）

5. 6 化学物質使用量の取組（活動期間を通じて実施）

使用時はマスク着用など、適切な取り扱いを行う

5. 7 地域の環境美化活動への取組

舟町工場 敷地内に花の苗植えを行う

岡垣工場 工場内全従業員で工場内の草刈りを行う

工場周辺の草刈り作業を行う

6. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社が遵守しなければならない主な環境関連法規は次の通りです。

- ・廃棄物処理法 ・騒音、振動規制法 ・消防法 ・フロン排出抑制法
- ・RoHS指令

当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘や利害関係者からの訴訟もありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直し

7. 1 全体評価

二酸化炭素排出量の削減、水使用量の削減、生産性の向上は目標に達している状況ですが、産業廃棄物の削減で目標が未達になっている。

要因として各位の分別意識がまだまだ未熟な点が見られた、より一層分別意識を持つために、一目見て分かるような対策を心掛ける必要がある。

生産性の向上では今まで取り組んでいた事が定着していることがよくわかる結果だと思う。

大阪営業所での電気の使用量の増加については新型コロナウイルス等の流行の影響で、換気を徹底した為、冷暖房効果の減少によるものでした。

ガソリン使用量の削減により内製化については利益にも直結した活動が出来ており、継続して活動してください。

7. 2見直し・指示

大阪営業所にて電気の使用量、産業廃棄物の排出量が目標未達になっています。

新型コロナウイルスの第5類に移行に伴い、冷暖房効率の対策強化を行なってください。

廃棄物の分別を明確化し、回収資源まで廃棄していないか見直しと対策強化を行ってください。

製品紹介欄

詳しくは ㈱ニシテイ ^ TEL 093(631)4131
http://www.nishitei.co.jp/
E-mail ksd@nishitei.co.jp

20190411 

SWF 正弦波フィルタの機能

- サージ電圧の抑制
SWFを設置する事により、サージ電圧を650～800V程度に抑制します。
サージ電圧は、負荷までの配線が長い場合に発生し、大よそインバータPN間電圧(直流)の2倍の値が発生します。
- 軸電圧(ベアリング電食)の抑制
SWFを設置する事により、 dv/dt が抑制され、それにより発生する軸電圧を低減させます。
- 変圧に伴う投資の抑制
高圧負荷のインバータ化をご検討される際、電圧の問題などでインバータの用意が難しい場合があります。
SWFを設置する事で、インバータ出力電圧に含まれるキャリア周波数成分、サージ電圧及び dv/dt が抑制できるため、汎用インバータ+汎用変圧器(トランス)にて対応でき、投資抑制が図れます。



- SWF(正弦波フィルタ)
 - ・リアクトル、コンデンサの2種類を組み合わせたパッシブフィルタで、故障率が低く信頼性の高いフィルタです。
 - ・自冷式で余分な電源を必要としません。
 - ・SWFをインバータの二次側に接続する事で、負荷側端子に発生するサージ電圧を抑制します。
 - ・キャリア周波数2kHz以上より、低容量から高容量までの幅広いラインナップをご用意しニーズにお応えします。



環境活動・緊急事態訓練報告の紹介



今回は舟町工場にて消火器の実技訓練を行いました。



岡垣工場内と前の道路の清掃活動を行いました。